




収受年月日	議 長	事務局長	書 記
4.3.4			
第 137 号			



令和4年3月4日

埴町議会議長 割貝 寿一 様

総務常任委員会委員長 七 宮 広 樹



所管事務調査報告書

本委員会は、所管事務の調査を下記のとおり実施したので、埴町議会会議規則第77条の規定により報告する。

記

- 1 調査事件 (1) 役場庁舎 I C T 化の現状と今後の計画について
(2) 子ども第三の居場所 (子ども食堂) 事業について

- 2 調査経緯

本委員会は、役場庁舎 I C T 化の現状と今後の計画についてと子ども第三の居場所 (子ども食堂) 事業について、担当課からの聞き取り調査を行った。

調 査 日 令和4年2月1日 (火)
出席委員 七宮広樹、鈴木元久、鈴木 茂、青砥與藏、吉田広明、金澤太郎
割貝寿一
説 明 員 総務課長、企画情報係長、教育長、生涯学習課長補佐兼生涯学習
係長兼図書館係長、生涯スポーツ係長
職務出席者 議会事務局長、書記
場 所 委員会室

- 3 調査結果

- (1) 役場庁舎 I C T 化の現状と今後の計画について

役場庁舎内で使用している4系統のネットワーク (LGWAN 系・個人番号利用事務系・県インターネット系・一般のインターネット系) の詳細な説明を受けた。

以上の4系統を現在利用しているが国は住民基本台帳、税務、介護、国民年金など17システムについて、機能や様式を統一した標準システムの開発・導入を進めており埴町も令和4年度から準備を進め、TKCが開発を予定している標準システムに移行する事を検討していると聞く。

今後の ICT の活用について、各種行政手続きのオンライン化を国主導により令和 8 年度以降に進め、埴町ではその他にも「こども園」の業務支援システム「コドモン」の導入検討に向けた実証実験に取り組んでいく予定だと説明を受けた。

(2) 子ども第三の居場所（子ども食堂）事業について

これまでの経過と現状について説明を受けた。

町では B&G 財団が実施している、子ども第三の居場所(子ども食堂)の財政支援事業を活用し、事業促進を図る考えと聞くが、予定していた設置場所の変更や運営内容など、ハード面・ソフト面共に、課題が多いように思う。

時代の激変もあり、全国的にも子ども第三の居場所(子ども食堂)事業が拡大する中、令和 5 年度の運営開始を目指し、慎重かつ大胆に形にとらわれずに、子ども達に手を差し伸べる事業展開を切に願う。

4 委員報告書

別紙のとおり



令和 4 年 2 月 2 日

総務常任委員長 様

收受年月日	委員長	事務局長	書記
4.2.3			
第 号			

提出者 青砥與藏

派遣目的 (調査等 名称)	1、新庁舎 ICT 化の現状と今後の計画について 2、子ども第三の居場所 (子ども食堂) 事業について		
派遣の 日時	令和 4 年 2 月 1 日 (火) 13:30~16:00	派遣先 (場所)	委員会室
内容	<p>1、 役場庁舎のネットワークの状況 【説明員】 白石総務課長、薄井係長 【役場内では、4 系統のネットワークを利用している】</p> <p>① LGWAN 系 官公庁設置のパソコンのみ接続、インターネットにも接続されていない。白河広域圏傘下の市町村で共同運用している。</p> <p>② 個人番号利用事務系 (基幹系) 個人情報やマイナンバーを取り扱う事務用のシステム専用ネット。 インターネットに接続していない。TKC ネットワークと LGWAN 接続。</p> <p>③ 県インターネット系 福島県が設置しているセキュリティクラウドを経由して、インターネットに接続し、学校の生徒・教員が情報の閲覧を利用している。</p> <p>④ 一般のインターネット系 NTT のサービスを利用し、フリーWi-Fi・道路監視・オンライン会議等にも利用している。</p> <p>○今後の ITC 活用は、行政手続きのオンライン化 (国指導) の標準システムの移行が令和 8 年度に検討されている。</p> <p>○新庁舎フロアに Wi-Fi を設置し、来朝者に利用できる環境整備。</p> <p>○デジタル社会の実現に向けた改革を示し、行政サービス・業務効率化・リモート会議など、DX 推進計画策定を検討していく。</p> <p>2、 子ども第三の居場所事業 (B&G 財団) 【説明員】 教育長・鈴木係長・藤田係長 【主旨】 家庭が抱える困難が複雑・深刻化する中、安心して過ごせる環境で、 活習慣、学習習慣など、子供たちが将来の自立に向けて生抜く力を育む 「子ども第三の居場所」を全国に 【居場所数】 30 か所程度 【事業要件】</p>		

	<p>① 教育委員会・福祉部局・子供家庭部局・学校の連携強化。</p> <p>② 運営委員会の設置。専門機関繋がり。</p> <p>③ 生活習慣、自己肯定感、人や社会と関わる力、学習支援を実施する。</p> <p>④ 子育て保護者にも寄り添い、相談体制を構築する。</p> <p>⑤ 助成終了後（４年目以降）補助金・寄付などで運営を継続する。</p> <p>【助成金の概要】開設費助成金（最大）5000万円、 週3～4日、午後8時まで、中高生も可能、無料夕食、定員15名以上、 代官所跡地に施設建設、スタッフ・運転手人件費や運営経費は（月最大） 80万円、</p>
<p>派遣 結果 (意見 及び 感想)</p>	<p>新庁舎 ICT 化の現状と今後の計画について</p> <p>情報共有は、透明性を確保することで重要な要素ですが、個人のプライバシー保護の観点から、セキュリティ対策が必要です。</p> <p>現在、埴町では、データ管理を(株)TKCに業務委託しています。棚倉町・鮫川村と同じ事業所です。</p> <p>ITCとは、情報通信技術を活用することです。このような情報ツールを使うことで、テレワーク、リモート会議が可能です。経費削減が可能です。</p> <p>是非とも、少子化、労働人口減少時代に対応する使い勝手が良いシステムを構築して頂きたい。</p> <p>子ども第三の居場所（子ども食堂）事業について</p> <p>事業の概要、主旨に異論は有りません。</p> <p>風呂敷の大きさに違和感を感じます。スタッフ人材・運転手・受入人数食糧費・経費など大枠の運営費が見えていません。</p> <p>小学生・中学生・高校生・大人まで対象を広げ、夕食代無料。</p> <p>学童保育午後6時まで、夕食無し少額ですが有料。第三の居場所は午後8時まで、夕食代有り無償。公共のバランスで言う不バランス。</p>

議員派遣
委員派遣

調査研修等報告書



様式 1

令和 4 年 2 月 1 日

総務 委員会	收受年月日 4.2.4	委員長 	事務局長 	書記 	提出者 鈴木 茂
	第 号				

派遣目的 (調査等 名称)	総務常任委員会所管事務調査		
派遣の 日時	令和 4 年 2 月 1 日 (火) 13:30~	派遣先 (場所)	委員会室
内容	<p>第 1 役場庁舎 ICT 化の現状と今後の計画について 役場庁舎内で使用している 4 系統のネットワークについて説明がありました。</p> <p>1) IGWAN 系 (事務系) 高度なセキュリティ対策をしている白河広域圏傘下で共同運用しているもの</p> <p>2) 個人番号利用事務系 (基幹系) 個人情報やマイナンバーを取り扱う事務用のシステム専用のもの</p> <p>3) 県インターネット系 県が設置しているセキュリティアクラウドという設備を経由してインターネットに接続しているもの</p> <p>4) 一般のインターネット系 NTT のサービスを利用し住民向けの WiFi や道路の積雪状況を監視するためのカメラを利用するもの</p> <p>以上の 4 系統を現在利用しているが国は住民基本台帳、税務、介護、国民年金など 17 システムについて、機能や様式を統一した標準システムの開発、導入を進めており埴町としても令和 4 年度から準備を進め TKC が開発を予定している標準システムに移行することを検討しています。又、今後の ICT の活用について、各種行政手続きのオンライン化を国主導により令和 8 年以降に進める考え、埴町ではその他にもこども園の業務支援システム「コドモンの導入検討に向けた実証実験に取り組んでいく予定と説明がありました</p> <p>第 2 子ども第三の居場所 (子ども食堂) 事業について 町は B&G 財団が実施している子ども第三の居場所 (子ども食堂) の財政支援事業 (学習生活支援モデル) に手を挙げました。しかし設置場所が決まらず令和 4 年の運営開始が遅れるようです。子ども食堂の内容について詳細な説明を受けましたが、対象 (小学生) の登録、食事の提供や学習を指導スタッフの確保など課題が多いと思われます。又事業者は主に NPO 法人など</p>		

	<p>が事業を展開しており自治体が直接事業者になることは論外と思われ ます。</p>
<p>派遣 結果 (意見 及び 感想)</p>	



令和 4 年 2 月 5 日

七宮 広樹 総務常任委員長 様

收受年月日 4.2.7	委員長	事務局長	書記
第 号			

提出者 吉田 広明

派遣目的 (調査等 名称)	総務常任委員会事務調査報告書		
派遣の 日時	令和 4 年 2 月 1 日	派遣先 (場所)	委員会室
内容	<p>1、役場庁舎 ICT 化の現状と今後の計画について</p> <p>2、子どもの第三の居場所事業について</p>		
派遣 結果 (意見 及び 感想)	<p>1、役場庁舎 ICT 化の現状と今後の計画について</p> <p>現行のネットワークは、専用 4 系統（一部閉鎖的環境）のネットワークの運用である。平成 2 年度、財務ソフト会計に特化していた、TKC のシステムが導入されたが、事務の生産性が向上し総経費削減に寄与したのか、直近の課税ミスなどもあり、検証と見直し対策が必要だと思う。現在、日本の行政事務系は、大手 IT ゼネコンのオープンソース化が遅れ、新規参入ができなかった為、導入した独占システムの莫大なバージョンアップ課金に縛られている。それを改善すべく国は、「ガバメントクラウド」のクラウドサービスに、Amazon と Google を選択した。しかし、世界の常識は自国行政事務システムを運用しており、個人情報在国外に流失することには、危惧すべき事態である。また、課長等と添付メールが利用出来ないのは、改善をすべきである。尚、2021 年世界デジタル競争力ランキングは 28 位となっており、年々低下傾向を示している。</p> <p>2、子どもの第三の居場所事業について</p> <p>一人親家庭の増加、子育て世代の低賃金、コロナ禍での収入不安定、円安による燃料や食料品の値上がりなど、子供の生活環境は苦境に迫られていると思う。少子化を招いたのは、非正規の増加や低賃金に起因している。NPO 法人に委託するべきとの意見もあったが、多くの自治体は、法人又は運営組織に助成をしている。町が直接関与しないなどの理論は成立しない。少ない子供を一人でも取りこぼさないことが、行政福祉の在り方であり、存在する意義がある。戦後の高度経済成長期を経験した世代と 50 代以下の世代の違いは余にも大きい。最後に、早期開設と人口減少に向けて、新たな管理施設を増やすのではなく、既存建物を再利用すべきある旨の意見を付加える。</p>		



議員派遣
委員派遣

調査研修等報告書

4年 2月17日

議会議長
委員会委員長

收受年月日	委員長	事務局長	書記
4.2.17 様 第 号			

提出者 鈴木元久

派遣目的 (調査等 名称)	総務常任委員会所管事務調査		
派遣の 日時	令和4年2月1日(火) 13:30~	派遣先 (場所)	委員会室
内容	第1 役場庁舎ICT化の現状と今後の計画 第2 子ども第三の居場所(子ども食堂)の事業について		
派遣 結果 (意見 及び 感想)	調査のまとめ 第1. ICTとは情報通信技術を活用活用することです。 (1) 町が取り組んできた主なICTの導入状況 <ul style="list-style-type: none"> ・町内全域に光ファイバーの敷地 ・IP告知システムによる情報提供、Jアラートとの連携 ・光ファイバーを利用した地上デジタル放送難視聴区域へのデジタル再送信サービス ・TKCシステムの導入 ・Wi-Fiアクセスポイントの設置(108点)、道路監視カメラ等の設置(8か所) ・児童生徒一人一台のタブレットの整備 ・税金等口座振替申込みのオンラインシステムの導入 ・小中学校の校務支援システムの導入 ・GISシステムの導入(農地・山林・上下水道等) ・空き家バンクポータルサイト構築 (2) 今後のICTの活用について <ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎の建設にあたり各フロアにWi-Fiアクセスポイントを設置しこの回線を利用した防犯カメラ等も設置したい。 ・子ども園では、業務支援システム「コドモ」の導入を検討に向けた実証実験に取り組んでいく予定。 ・場町でも各課等と協議しながらDX(デジタルトランスフォーメーション)を推進計画策定を検討していきます 		

議員派遣
委員派遣

調査研修等報告書

年 月 日

議会議長
委員会委員長 様

提出者

派遣目的 (調査等 名称)			
派遣の 日時		派遣先 (場所)	
派遣 結果 (意見 及び 感想)	<p>第2. 子ども第三の居場所とは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般的には「子ども食堂」が代表的な呼び方 ・現在全国で5000箇所程度設置されている県内では(令和4年7月現在)82ヶ所 <p>(1) これまでの経過</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年12月 埴野振興計画(令和2年から令和5年)に事業を計上 ・令和3年3月 令和3年度当初予算に設計業務委託料を計上 ・令和4年度 B&G財団、関係各課等との協議 改修設計業務委託(基本設計段階で完了する) 上記業務委託結果により、計画変更となる。 <p>(2) 今後の予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度 新築工事設計業務委託、同監理業務委託 新築工事、備品等購入、運営体制等整備 ・令和5年度 運営開始。 <p>(3) B&G財団では、日本財団と連携し、子どもたちが安心して過ごせる環境で自己肯定感、人や社会と関わる力、生活習慣、学習習慣などの将来の自立に向け生き抜く力を育む「子ども第三の居場所」を全国に広がります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象となる事業期間 2021年4月1日～2022年3月31日 2024年募集 <p>(4) 埴野学習・生活習慣支援センターの役割を養うための支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週3～4日(週9時間以上) ・放課後児童クラブ利用児童の中で、困難に直面する児童を対象に時間を延長する。 ・経済状況や家庭環境に課題を抱えた小学生(中学生可) <p>(5) 対象外となる経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地、建物の購入費 ・土地、建物の賃料(ただし、改修時等一時的に発生する場合を除く) ・施設の耐震診断に係る費用 ・旧施設撤去費 ・建築工事に係る事務などの開設事業で発生する自治体職員等の人件費 <p>※ 助成終了後(運営開始から4年目以降)は各自治体における予算や各種補助金交付などを活用して居場所の運営を継続すること。就継続運営等に関して、自治体とB&G財団による協定書を取交わすこと。</p>		

※ 今後場所等の設定地区の検討が必要と思われる問題が多々あると思われる



調査研修等報告書

議員派遣

委員派遣

令和 4 年 2 月 1 8 日

議会議員
委員会委員

收受年月日	委員長	事務局長	書記
4.2.18 様			
第 号			
			提出者

金澤 太郎

派遣目的 (調査等 名称)	総務常任委員会所管事務調査		
派遣の 日時	令和 4 年 2 月 1 日 13時30分より	派遣先 (場所)	委員会室
内容	第 1 役場庁舎 ICT 化の現状と今後の計画について		
	第 2 子ども第三の居場所 (子ども食堂) 事業について		
派遣 結果 (意見 及び 感想)	第 1 役場庁舎 ICT 化の現状と今度の計画について		
	役場の ICT 化の現状が良く理解できた。特にセキュリティー面について		
	は、政府等の指針に準じて、物理的に外部と距離をとれる環境にある等		
	第三者からの攻撃に対し、複数にセキュリティーがかけられ、情報の取り		
	扱いの不安は解消された。		
	しかし人的セキュリティー面に関しては、今後の ICT 化促進に合わせて		
	今以上に強化が求められてくると思う。行政サービスが拡充される見込み		
	だが、利便性の向上以上にシステム化することでの費用発生が予測され		
	るので、町負担とのバランスをとっていくことを切に願う。		
派遣 結果 (意見 及び 感想)	第 2 子ども第三の居場所 (子ども食堂) 事業について		
	タブレット導入時に Wi-Fi ルーターの見込み数が不足して、追加購入し		

た経緯がある。教育委員会の年次報告でも、助成が必要な児童生徒がいることは明らかであり、早急に開所することが最優先と考える。

生活環境は児童生徒の家庭環境によってさまざまではあるが、週に1～2回程度でも、多くの人と食卓を囲む経験を積むこと、周りの大人が自分を見てくれているといった経験をきちんと積んでもらう事は、将来を担う子供たちにとって非常に重要なことである。

時代は常に変遷しており、子ども食堂の仕組みは、今の時代に即した事業だと思う。忙しく、両親が手をかけられない家庭があることは、半世紀以上前から変わっていないと思う。現在では、両親が忙しいことに加え、核家族化が急激に進んだことも含めて考える必要がある。

今育つ子ども達が、将来を支える力なので、子育てに惜しむべきではない。

以上

議員派遣
委員派遣

調査研修等報告書






收受年月日	委員長	事務局長	書記
4・2・28			
議会議長	委員		
第 号			

4年2月28日

議会議長
委員会委員長

提出者 新貝 新一

派遣目的 (調査等 名称)	総務主任委員会所管事務調査		
派遣の 日時	令和4年2月1日	派遣先 (場所)	委員会室
内容	<p>1. 役場庁舎 ICT化の現状と今後の計画について</p> <p>2. 子ども第三の居場所(子ども食堂)事業について</p>		
派遣 結果 (意見 及び 感想)	<p>1. 役場内では4系統のネットワークを利用 情報の不正流出がない様になっている。国主導の 標準システムとして埼町はTKCを検討している。 今後のICT活用については令和5年度以降に 検討を進める見込みである。</p> <p>2. 令和4年度に施設完成 令和5年度運営開始となっているが、まだ細部まで 決っていない様に見える。 各町区財団からの補助金が落ちる4年目からの 運営。少子化が進む中での今後の継続 持続の見直し。 子ども食堂事業の必要後はないか まずは利用者数の確認だと思った。</p>		

收受年月日	委員長	事務局長	書記
4.3.4			
第 号			

議員派遣・委員派遣

所管事務調査報告書

令和4年3月4日

総務常任委員会
委員長様



提出者 七宮 広樹

派遣目的 (調査等名称)	総務常任委員会		
派遣の日時	令和4年2月1日(火)	派遣先 (場所)	委員会室
内容	役場庁舎 ICT 化の現状と今後の計画について 子ども第三の居場所(子ども食堂)事業について		
派遣結果 (意見及び感想)	<p>役場庁舎 ICT 化の現状と今後の計画について</p> <p>役場庁舎内で使用している4系統のネットワーク(LGWAN系・個人番号利用事務系・県インターネット系・一般のインターネット系)の詳細な説明を受けた。</p> <p>以上の4系統を現在利用しているが国は住民基本台帳、税務、介護、国民年金など17システムについて、機能や様式を統一した標準システムの開発・導入を進めており埴町も令和4年度から準備を進め、TKCが開発を予定している標準システムに移行する事を検討していると聞く。</p> <p>今後のICTの活用について、各種行政手続きのオンライン化を国主導により令和8年度以降に進め、埴町ではその他にも「こども園」の業務支援システム「コドモン」の導入検討に向けた実証実験に取り組んでいく予定だと説明を受けた。</p> <p>子ども第三の居場所(子ども食堂)事業について</p> <p>これまでの経過と現状について説明を受けた。</p> <p>町ではB&G財団が実施している、子ども第三の居場所(子ども食堂)の財政支援事業を活用し、事業促進を図る考えと聞くが、予定していた設置場所の変更や運営内容など、ハード面・ソフト面共に、課題が多いように思う。</p> <p>時代の激変もあり、全国的にも子ども第三の居場所(子ども食堂)事業が拡大する中、令和5年度の運営開始を目指し、慎重かつ大胆に形にとらわれずに、子ども達に手を差し伸べる事業展開を切に願う。</p>		